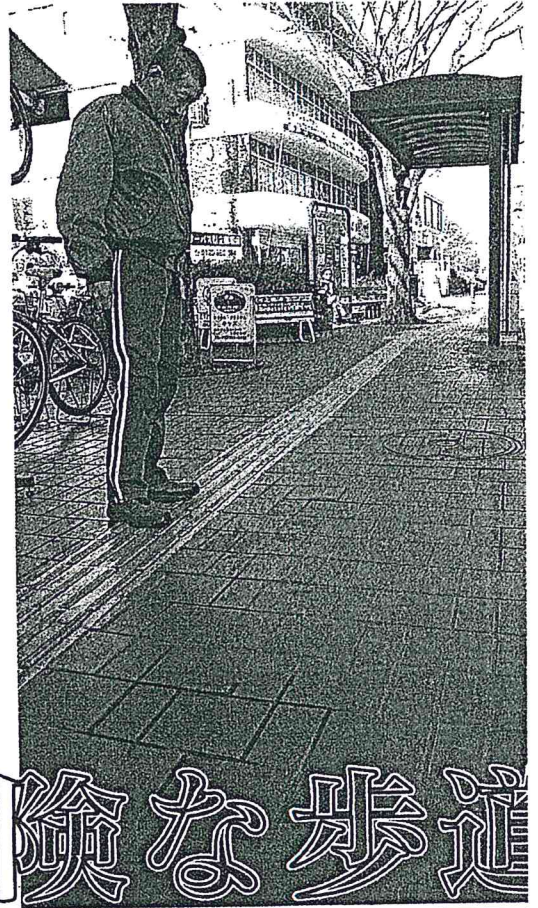


「雨の日は滑りやすく危険」との不安の声が出ている県立劇場近くの歩道—熊本市大江



雨の日 滑る 滑る

危険な歩道

熊本市大江 県立劇場近く 通行者から不安の声

保険外交員の上田啓子さんは「市内には滑り

「雨の日は滑りやすく危険」—タイル舗装されている熊本市大江の県立劇場近くの歩道について、住民や自転車利用者から不安の声が上がっている。

市道路整備課によると、問題の歩道は全長約

五百メートル。一九八九(平成元年)年、環境整備の一環としてタイル舗装されたが、転倒事故などもあり〇二年度に改修。約四百万円をかけて、タイルを滑り止め用の樹脂で加工した。

しかし「施工後二、三カ月で樹脂がはがれてきた。自転車で急ブレーキを掛けたとき滑ったり、歩きにくそうにしているお年寄りの姿をよく見掛ける」と近くで自転車店を経営する永田茂さん(五〇)。

自転車と同歩道を利用する薬園町の松尾興和さん(六七)も「お風呂のタイルと同じで、雨の日は特に用心する」と言う。

これに対し、同課と市東部土木センターは「樹脂は応急処置。再改修する計画はないが、苦情が出ているなら、再検討したい」としている。

自転車を利用している

大事だが、歩道は安全第一

(小林昌弘)